

市町村合併のメリット

市町村合併は、地域の一体的な整備、市町村の行財政基盤の強化、住民に身近な行政サービスの向上等を図るために有効な方策とされていますが、一般的に次のような効果が期待できます。

- ①これまで他の市役所や役場だったところで窓口サービスを受けることができるようになり、勤務地や買い物先の近くなど、多くの場所での利用可能になります。
- ②旧市町村界を越えた見直しにより、生活の実態に即した小中学校学区が設定可能になります。
- ③近隣の公共施設（図書館、スポーツ施設等）が利用しやすくなります。

住民の利便性が向上します

市町村が合併すると、私たちの暮らしは良くなるの？

市町村合併特集2回目の今回は、市町村合併の効果について考えてみたいと思います。

特集 市町村合併についてみんなで考えましょう

市町村合併②

行政サービスが向上します

- ①小規模な市町村では設置が困難だった女性施策や、国際化、情報化等の専任の組織・職員を置くことができるようになり、より多様な個性ある行政施策の展開が可能になります。
- ②従来、採用が困難または十分に確保できなかった専門職（社会福祉士、保健師、理学療法士、土木技師、建築技師等）の採用・増強を図ることができ、専門的かつ高度なサービスの提供が可能になります。

基盤整備の推進がはかれます

- ③一般的に、合併の際、福祉サービス等の水準は高い水準に、負担は低い水準に調整されることが期待できます。
- ④行財政基盤の強化により、行政サービスの充実や安定が図られます。

広域的観点にたった地域づくり、まちづくりができます

- ①広域的観点に立つて、道路や公共施設の整備、土地利用、地域の個性を生かしたまちづくりなどが、効果的に推進することができま
- ②環境問題や水資源問題、観光振興など、広域的な調

行財政の運営の効率化がはかれます

- ①総務、企画などの管理部門の効率化を図ることにより、サービスや事業を担当する部門の職員を厚くするなど、職員数を全体的に少なくしながら、サービスの向上を図ることができま
- ②三役や議員、委員会や審議会、事務局職員などの総数が減少し、その分経費も節約されます。
- ③広域的観点からスポーツ施設、文化施設等の公共施設が効率的に配置され、狭い地域での類似施設の重複がなくなります。

